

## 平成20年度 第2四半期 決算概要

### 連結

	平成20年度 第2四半期累計期間 〔自平成20年 4月 1日 至平成20年 9月30日〕	平成19年度 中間期 〔自平成19年 4月 1日 至平成19年 9月30日〕
受 注 高	18,417 億円	17,696 億円
売 上 高	15,746 億円	14,464 億円
営 業 利 益	727 億円	558 億円
経 常 利 益	755 億円	410 億円
税 金 等 調 整 前 益 四 半 期 純 利 益	520 億円	485 億円
四 半 期 純 利 益	290 億円	279 億円
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	919 億円	1,053 億円
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△421 億円	△882 億円
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,257 億円	△74 億円
一 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	8.65円	8.34円

注. 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

注. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。  
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 三菱重工工業株式会社  
 コード番号 7011 URL <http://www.mhi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大宮 英明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 河本 雄二郎  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年12月3日

上場取引所 東大札福

TEL 03-6716-3111

平成20年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	1,574,652	—	72,722	—	75,501	—	29,031	—
20年3月期第2四半期	1,446,416	6.9	55,872	26.1	41,010	22.6	27,988	27.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	8.65	—
20年3月期第2四半期	8.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	4,386,670	—	1,422,671	—	31.4	—	410.85	
20年3月期	4,517,148	—	1,440,429	—	31.4	—	423.17	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,378,884百万円 20年3月期 1,420,203百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400,000	6.1	130,000	△4.4	110,000	0.5	54,000	△12.0	16.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 3,373,647,813株 20年3月期 3,373,647,813株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 17,478,606株 20年3月期 17,573,785株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 3,356,081,329株 20年3月期第2四半期 3,355,890,034株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年7月31日に公表しました通期の連結業績予想について、本資料において修正しています。

2. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、この業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、

この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく

経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務情報等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準

適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済の減速や原油をはじめとする原材料価格の高騰の影響などにより減速基調となりました。こうした中、我が国経済においては個人消費の伸び悩みに加え、これまで概ね堅調に推移してきた輸出や設備投資についても、世界経済減速の影響などにより鈍化が鮮明となりました。さらに、9月に発生した米国に端を発する金融危機により、我が国のみならず、世界の实体经济への一層の影響拡大が懸念されており、先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社の業績は、受注高が1兆8,417億円、売上高は1兆5,746億円、営業利益は727億円、経常利益は755億円となりました。なお、「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」を特別損失に計上（第1四半期）したことなどにより、当四半期純利益は290億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社は、年度後半に引き渡す工事が多いため、年度中においては、前年度末に比してたな卸資産が増加し売掛金などの売上債権が減少する傾向があります。また、当第2四半期末においては、保有株式の時価による評価替や株式の売却により投資有価証券が減少しました。その結果、総資産は、前年度末（平成20年3月末）に比べ、1,304億円減少の4兆3,866億円となりました。有利子負債については、1兆2,242億円となり、前年度末から1,411億円減少しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績は、売上高 3兆4,000億円、営業利益 1,300億円、経常利益 1,100億円、当期純利益 540億円の見通しであり、平成20年7月31日に公表しました通期の連結業績予想を修正しています。

業績見通しの前提となる未確定外貨に係る為替レートは、1ドル95円、1ユーロ120円です。（詳細は13ページ 平成20年度見通し をご参照ください。）

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

記載すべき該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

記載すべき該当事項はありません。

##### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算について、当社は当第2四半期連結累計期間における税引前四半期純利益に重要な永久差異を加減算し法定実効税率を乗じて計算し、連結子会社は主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

##### ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として「原価法」によっていましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号（平成18年7月5日企業会計基準委員会））が適用されたことに伴い、主として「原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）」により算定しています。

これに伴う当第2四半期連結会計期間末での簿価切下げ額は37,807百万円であり、平成20年4月期首時点での簿価切下げ額33,436百万円を「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」として特別損失に計上しています。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は4,371百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は37,807百万円減少しています。

- ③ 第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号(平成18年5月17日企業会計基準委員会))を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これに伴い、期首の利益剰余金が30百万円減少しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、リース取引開始日が当連結会計年度開始後であるリース取引については通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が当連結会計年度開始前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	192,590	274,885
受取手形及び売掛金	1,025,498	1,086,580
有価証券	5,782	3,569
商品及び製品	160,004	147,070
仕掛品	993,471	889,473
原材料及び貯蔵品	135,291	128,309
繰延税金資産	112,581	114,548
その他	289,150	298,125
貸倒引当金	△6,757	△5,677
流動資産合計	2,907,614	2,936,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	319,768	316,559
機械装置及び運搬具（純額）	275,306	272,442
工具器具備品（純額）	76,122	82,779
土地	154,642	153,615
リース資産（純額）	439	—
建設仮勘定	49,678	50,256
有形固定資産合計	875,957	875,653
無形固定資産		
無形固定資産	28,255	29,037
投資その他の資産		
投資有価証券	511,160	609,248
長期貸付金	2,771	3,119
繰延税金資産	8,100	7,411
その他	66,195	74,281
貸倒引当金	△13,385	△18,490
投資その他の資産合計	574,842	675,570
固定資産合計	1,479,056	1,580,261
資産合計	4,386,670	4,517,148

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	690,573	733,500
短期借入金	156,335	233,801
1年内返済予定の長期借入金	117,380	85,416
1年内償還予定の社債	300	40,300
製品保証引当金	22,803	23,660
受注工事損失引当金	14,064	6,893
係争関連損失引当金	9,147	—
前受金	560,833	469,285
その他	232,510	233,037
流動負債合計	1,803,948	1,825,894
固定負債		
社債	285,521	286,057
長期借入金	664,740	719,818
繰延税金負債	58,837	94,134
退職給付引当金	88,806	89,936
PCB廃棄物処理費用引当金	4,300	4,300
その他	57,844	56,577
固定負債合計	1,160,050	1,250,824
負債合計	2,963,999	3,076,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	265,608	265,608
資本剰余金	203,922	203,893
利益剰余金	803,831	787,007
自己株式	△5,037	△5,045
株主資本合計	1,268,325	1,251,464
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108,291	157,546
繰延ヘッジ損益	4,007	7,346
為替換算調整勘定	△1,740	3,847
評価・換算差額等合計	110,559	168,739
新株予約権	878	549
少数株主持分	42,908	19,676
純資産合計	1,422,671	1,440,429
負債純資産合計	4,386,670	4,517,148

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,574,652
売上原価	1,345,032
売上総利益	229,619
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	60,415
研究開発費	22,051
引合費用	11,920
その他	62,510
販売費及び一般管理費合計	156,897
営業利益	72,722
営業外収益	
受取利息	3,052
受取配当金	4,300
持分法による投資利益	3,732
為替差益	5,528
その他	2,696
営業外収益合計	19,311
営業外費用	
支払利息	9,814
固定資産廃却損	2,387
その他	4,329
営業外費用合計	16,531
経常利益	75,501
特別利益	
固定資産売却益	2,450
投資有価証券売却益	14,145
特別利益合計	16,596
特別損失	
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	33,436
係争関連損失	6,566
特別損失合計	40,002
税金等調整前四半期純利益	52,095
法人税等	22,328
少数株主利益	735
四半期純利益	29,031

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	52,095
減価償却費	70,658
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,087
受取利息及び受取配当金	△7,353
支払利息	9,814
持分法による投資損益 (△は益)	△3,732
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,145
固定資産売却損益 (△は益)	△2,450
固定資産廃却損	2,387
係争関連損失	6,566
売上債権の増減額 (△は増加)	56,764
たな卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△138,472
その他の資産の増減額 (△は増加)	15,116
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,028
前受金の増減額 (△は減少)	95,785
その他の負債の増減額 (△は減少)	45,289
その他	△3,338
小計	144,869
利息及び配当金の受取額	8,095
利息の支払額	△9,890
法人税等の支払額	△51,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	2,326
有価証券の取得による支出	△275
有価証券の売却及び償還による収入	305
有形及び無形固定資産の取得による支出	△76,719
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,464
投資有価証券の取得による支出	△21,039
投資有価証券の売却及び償還による収入	50,643
貸付けによる支出	△1,477
貸付金の回収による収入	1,565
その他	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△75,977
長期借入れによる収入	13,715
長期借入金の返済による支出	△36,134
社債の償還による支出	△40,150
少数株主からの払込みによる収入	23,488
配当金の支払額	△10,033
少数株主への配当金の支払額	△501
その他	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,976
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77,887
現金及び現金同等物の期首残高	262,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	184,964

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	船舶・ 海洋 (百万円)	原動機 (百万円)	機械・ 鉄構 (百万円)	航空・ 宇宙 (百万円)	中量産品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	127,556	531,941	210,579	215,607	442,063	46,903	1,574,652	—	1,574,652
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84	9,631	8,580	314	6,231	4,734	29,578	(29,578)	—
計	127,641	541,573	219,159	215,922	448,295	51,638	1,604,230	(29,578)	1,574,652
営業利益	6,840	42,613	3,511	344	15,538	3,873	72,722	—	72,722

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,296,093	121,502	36,155	98,026	22,873	1,574,652	—	1,574,652
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	163,266	3,905	29,529	2,214	647	199,563	(199,563)	—
計	1,459,360	125,407	65,685	100,241	23,521	1,774,216	(199,563)	1,574,652
営業利益	60,823	5,348	1,149	4,136	1,264	72,722	—	72,722

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	北米	欧州	中南米	中東	大洋州	アフリカ	合計
I 海外売上高（百万円）	217,618	194,508	137,885	134,036	93,750	15,881	11,485	805,167
II 連結売上高（百万円）								1,574,652
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.8	12.3	8.8	8.5	6.0	1.0	0.7	51.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

(単位 百万円)

	19年度中間期 (19/4～19/9)
売上高	1,446,416
売上原価	1,241,754
売上総利益	(14.1%) 204,662
販売費及び一般管理費	148,789
営業利益	(3.9%) 55,872
営業外収益	
受取利息及び配当金	7,400
持分法による投資利益	3,643
その他収益	2,398
合計	13,441
営業外費用	
支払利息	9,846
為替差損	9,230
固定資産廃却損	2,747
その他費用	6,478
合計	28,303
営業外損益(△は損失)	△ 14,862
経常利益	(2.8%) 41,010
特別利益	
固定資産売却益	10,464
合計	10,464
特別損失	
事業改善・再構築に係る特別対策費	2,955
合計	2,955
税金等調整前中間純利益	(3.4%) 48,519
法人税、住民税及び事業税(減算)	21,714
法人税等調整額(減算)	△ 1,762
少数株主利益(減算)	578
中間純利益	(1.9%) 27,988

## (2)中間連結キャッシュフロー計算書

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

（単位 百万円）

	19年度中間期 (19/4～19/9)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	48,519
減価償却費	57,934
退職給付引当金の増減額 (減少:△)	△ 1,443
受取利息及び受取配当金	△ 7,400
支払利息	9,846
持分法による投資利益	△ 3,643
固定資産売却益	△ 10,464
固定資産廃却損	2,747
事業改善・再構築に係る特別対策費	2,955
売上債権の増減額 (増加:△)	144,186
たな卸資産及び前渡金の増減額 (増加:△)	△ 141,458
その他資産の増減額 (増加:△)	13,026
仕入債務の増減額 (減少:△)	△ 71,372
前受金の増減額 (減少:△)	109,325
その他負債の増減額 (減少:△)	△ 15,732
その他	1,237
小計	138,265
利息及び配当金の受取額	8,067
利息の支払額	△ 9,724
法人税等の支払額	△ 31,263
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>105,345</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金等の純増減額 (増加:△)	△ 201
有価証券の取得による支出	△ 262
有価証券の売却及び償還による収入	634
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 83,807
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,634
投資有価証券の取得による支出	△ 9,673
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,612
貸付けによる支出	△ 4,485
貸付金の回収による収入	343
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 88,204</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純減少額	△ 120,894
長期借入れによる収入	19,693
長期借入金の返済による支出	△ 22,847
社債の発行による収入	130,000
社債の償還による支出	△ 2,553
配当金の支払額	△ 10,040
少数株主への配当金の支払額	△ 425
その他	△ 335
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 7,403</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>2,496</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)</b>	<b>12,233</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首(年度首)残高</b>	<b>227,584</b>
<b>VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>610</b>
<b>VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>240,428</b>

### (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

（単位 百万円）

			19年度中間期 (19/4～19/9)
船舶・海洋	売上高	外部顧客に対する売上高	137,941
		セグメント間の内部売上高又は振替高	198
		計	138,140
	営業利益（△は営業損失）		2,618
原動機	売上高	外部顧客に対する売上高	439,750
		セグメント間の内部売上高又は振替高	9,993
		計	449,743
	営業利益（△は営業損失）		24,764
機械・鉄構	売上高	外部顧客に対する売上高	171,840
		セグメント間の内部売上高又は振替高	6,204
		計	178,044
	営業利益（△は営業損失）		115
航空・宇宙	売上高	外部顧客に対する売上高	196,756
		セグメント間の内部売上高又は振替高	321
		計	197,078
	営業利益（△は営業損失）		5,148
中量産品	売上高	外部顧客に対する売上高	440,548
		セグメント間の内部売上高又は振替高	4,482
		計	445,031
	営業利益（△は営業損失）		18,032
その他	売上高	外部顧客に対する売上高	59,579
		セグメント間の内部売上高又は振替高	3,747
		計	63,327
	営業利益（△は営業損失）		5,192
消去又は共通	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 24,948
		計	△ 24,948
	営業利益（△は営業損失）		-
連結合計	売上高	外部顧客に対する売上高	1,446,416
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	1,446,416
	営業利益（△は営業損失）		55,872

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

（単位 百万円）

			19年度中間期 (19/4～19/9)
日 本	売上高	外部顧客に対する売上高	1,203,117
		セグメント間の内部売上高又は振替高	129,880
		計	1,332,997
	営業利益	50,583	
北 米	売上高	外部顧客に対する売上高	110,771
		セグメント間の内部売上高又は振替高	4,920
		計	115,691
	営業利益	2,006	
ア ジ ア	売上高	外部顧客に対する売上高	30,344
		セグメント間の内部売上高又は振替高	21,365
		計	51,709
	営業利益	683	
欧 州	売上高	外部顧客に対する売上高	78,168
		セグメント間の内部売上高又は振替高	2,029
		計	80,198
	営業利益	2,281	
そ の 他	売上高	外部顧客に対する売上高	24,014
		セグメント間の内部売上高又は振替高	543
		計	24,557
	営業利益	318	
消 去 又 は 通 は り	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 158,738
		計	△ 158,738
	営業利益	-	
連 結 合 計	売上高	外部顧客に対する売上高	1,446,416
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	1,446,416
	営業利益	55,872	

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

（単位 百万円）

			19年度中間期 (19/4～19/9)
海 外 売 上 高	ア	ジ ア	201,550 ( 13.9%)
	北	米	188,831 ( 13.0%)
	欧	州	131,037 ( 9.1%)
	中	南 米	91,125 ( 6.3%)
	中	東	84,934 ( 5.9%)
	大	洋 州	5,688 ( 0.4%)
	ア	フ リ カ	5,189 ( 0.4%)
合 計			708,355 ( 49.0%)
連 結 売 上 高			1,446,416 ( 100.0%)

（ % ）は構成比を示す。

## 平成 20 年 度 見 通 し

### セグメント別受注高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	2,800
原 動 機	13,000
機 械 ・ 鉄 構	6,100
航 空 ・ 宇 宙	5,800
中 量 産 品	8,400
そ の 他	1,300
消 去 又 は 共 通	△400
合 計	37,000

### セグメント別売上高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	2,300
原 動 機	12,000
機 械 ・ 鉄 構	5,500
航 空 ・ 宇 宙	5,000
中 量 産 品	8,500
そ の 他	1,200
消 去 又 は 共 通	△500
合 計	34,000

### 業績見通し

(単位 億円)

	連 結
売 上 高	34,000
営 業 利 益	1,300
経 常 利 益	1,100
当 期 純 利 益	540

1 株 当 た り の 配 当 金	中 間 3 円, 期 末 3 円, 合 計 年 間 6 円
-------------------	-------------------------------

・上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページを参照してください。

### 設備投資額

(単位 億円)

	連 結
設 備 投 資 額 ( 注 )	2,250

(注) 設備投資額は固定資産の新規計上額 (建設仮勘定の計上額)。